天体観測ドーム　今月のＯＰＥＮ

18：30～21：30 まで（晴天時のみ）

11/

1 日(日)･3 日(火)･7 日(土)･8 日(日)･14 日(土)･15 日(日)

21 日(土)･22 日(日)･23 日(月)･28 日(土)･29 日(日)

星空通信

2026 年 11 月号

４日　水星が内合
６日　このころ、おうし座南流星群が極大
７日　立冬（太陽黄経 225 度）
９日　新月
12 日　金星が留
13 日　水星が留 / このころ、おうし座北流星群が極大
18 日　しし座流星群が極大
21 日　水星が西方最大離角
22 日　小雪（太陽黄経 240 度）
24 日　満月
26 日　天王星が衝
30 日　金星が最大光度（マイナス 4.9 等）



★用語解説★

立冬（りっとう）…二十四節気の一つで、暦の上では冬の始まりを意味します。毎年 11 月 7 日ごろにあたり、この日から立春（2 月 4 日頃）までが冬とされます。

小雪（しょうせつ）…二十四節気の 20 番目にあたり、わずかな雪が降り始める頃を表します。例年、11 月 22 日頃から 12 月 6 日頃にあたり、北の地域や山間部から初雪の便りが届き始める季節です。

★　しし座流星群　★

2026 年のしし座流星群の極大は 11 月 18 日（水）午前 9 時頃です。日中のためピークの瞬間は見られませんが、前夜の 11 月 17 日（火）深夜～18 日（水）の明け方（特に午前 3 時～5 時頃）が最高の観測チャンスとなります。上弦の月は 17 日 23 時頃に沈むため、月明かりの心配もほとんどありません。

今月の惑星情報

水星
4 日に内合となり、以後は日の出前の東から南東の低空に位置するようになります。下旬に向けて高度を上げ、21 日に西方最大離角となります。

金星
日の出前の南東の空で光度を上げ、30 日に最大光度となります。月初の明るさはマイナス 4.2 等ですが、最大光度となる下旬にはマイナス 4.9 等に達します。

火星
しし座の領域を東に移動しています（順行）。日の出 1 時間前には南東から南の空高く見え、明るさは 0.8 等から 0.5 等。

木星
しし座の領域を東に移動しています（順行）。日の出前の南東から南の空に見え、明るさはマイナス 2.0 等からマイナス 2.2 等。

土星
くじら座の領域を西に移動しています（逆行）。宵の南東の空に見え、明るさは 0.5 等から 0.6 等。

COMPAL HALL

☆雨天時のお問い合わせ☆コンパルホール　097-538-3700